

安全データシート

改訂日 2024年2月26日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 けい酸ナトリウム溶液(1号)
推奨用途 試験研究用
会社名 米山薬品工業株式会社
住所 大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号 (06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号 BD0024

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 急性毒性(経口): 区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分1

*記載のないものは「分類対象外」,「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。

【応急措置】
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。
皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
該当情報なし。

他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名 化学物質
別名 けい酸ナトリウム溶液
化学式 水ガラス, ケイ酸ソーダ, 珪酸ナトリウム
CAS RN $\text{Na}_2\text{O} \cdot n\text{SiO}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$
含有量 1344-09-8
官報公示整理番号(化審法/安衛法) SiO_2 35~38%, Na_2O 17~19%
(1)-508 / 公表

GHS分類に寄与する不純物及び安定化合物

該当情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断を受けること。

飲込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師の診断を受けること。

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

吸入: 咳, 喉頭痛

皮膚: 発赤, 痛み

眼: 充血, 痛み

経口摂取: 下痢, 吐き気, 嘔吐

応急処置をするものの保護

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

該当情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

不燃性である。周辺の状況や火災の状況に応じて適切な消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で吸収して、密閉式の容器に回収する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

全体換気装置、局所排気装置を設置する。

洗眼器と安全シャワーを設置する

安全取扱注意事項

吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

接触回避

酸、アルミニウム/亜鉛等の金属

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、乾燥した涼しい場所に密封して保管する。

強酸、アルミニウムおよび亜鉛から離しておく

容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産業衛生学会

未設定

ACGIH	未設定
濃度基準値	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	保護マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する
目の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	顔面シールド、保護衣、保護エプロン等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	粘調な液体
色	無色～わずかに着色
臭い	無臭
臭いの閾値	該当情報なし
融点・凝固点	該当情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし
可燃性	不燃性
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	該当情報なし
pH	約12
粘度(粘性率)	該当情報なし
溶解度	水と混和する。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし
蒸気圧	該当情報なし
密度又は相対密度	約1.6
蒸気密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当情報なし
粒子特性	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	アルミニウムおよび亜鉛と反応し、引火性/爆発性ガス(水素)を生じる。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸、アルミニウム/亜鉛等の金属
危険有害な分解生成物	酸化けい素
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：ラット LD ₅₀ :1,280mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	pHが12であり皮膚に有意な作用を起こすと考えられるため区分1とみなす。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	pHが12であり重篤な眼の損傷を起こすと考えられるため区分1とみなす。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	該当情報なし
生殖細胞変異原性	該当情報なし
発がん性	該当情報なし
生殖毒性	該当情報なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし
吸引性呼吸器有害性	該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	該当情報なし
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし
土壌中の移動性	該当情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

3266

品名(国連輸送名)

CORROSIVE LIQUID, BASIC, INORGANIC, N.O.S.

国連分類

8

容器等級

III

国内規制

陸上輸送

該当情報なし

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

応急措置指針番号

154

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

消防法

危険物に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき有害物 [施行令別表9]に該当しない。

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類)

船舶安全法

腐食性物質

航空法

腐食性物質

16. その他の情報

参考文献

17423の化学商品(化学工業日報社)

国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所HP)

産業中毒便覧(医歯薬出版)

Merck Index. 14th.

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。